

---

# 愛と憎しみ

零

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

愛と憎しみ

### 【Nコード】

N7824R

### 【作者名】

零

### 【あらすじ】

愛と憎しみは紙一重らしいな。

確かにそうだったよ。

俺は最愛の人を殺しちゃったからな。

愛と憎しみは紙一重だなんて

よく言ったもんだと思う。

可愛さあまって憎さ百倍だっけ？

そんなことわざだかなんだかもあったしな。

なんでそんなこと思うかっていうと、

今、俺の目の前には死体が転がってるからだと思う。

目の前にある生気を失くした肉の塊は

かつて俺が愛したやつだった。

俺が全力の愛をそそいでこいつに

さんざん貢いでやったのに

この女は俺をなんとも思ってたという。

ただの友達だとき。

ふざけんなってという話だよな。

お前だつて俺のこと

なんでも話せるとか好きとか言ってたのにな。

あれは嘘だったのか。

それがわかったとき

俺はこいつが無性に憎くなった。

殺したいと思った。

だから首をしめてやった。

いつのまにかこいつは抵抗することもなく、

口からよだれをたらし小便を漏らし

動かなくなっていた。

こいつはなんて言ってたっけな？

俺のこと気がくるってるとか  
頭がおかしいとか言ってたっけ。  
まあ、今となっちゃんどうでもいいけどな。

警察のサイレンの音が近づいてくる。

そっか、俺がさっき電話したんだっけ。

これで俺の人生も終わりか。

まあ、ムシヨ暮らしもいいかもしんねえな。  
俺みたいなクズはムシヨがお似合いだろう。

おっと警察が入ってきた。

じゃあな。

俺は連行されていった。

「聴取を始める。名前と性別は？」

「俺は本田恵子。生物学上は女。」

「なぜ殺した？」

「あいつを愛してたからだ。」

「愛してる？お前は女だろ？」

「性同一性障害って知らねえの？」

俺はあいつを愛してたよ。憎くなるくらいな」

「愛してたのになぜ殺した？」

俺はにやりと笑って自信たっぷり  
こつ答えてやった。

「愛と憎しみは紙一重なんだよ、オッサン。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7824r/>

---

愛と憎しみ

2011年10月8日22時12分発行